

【麻 醉 部】

I. プログラム責任者 庄司 和広

II. 臨床研修到達目標（8週）

1. 一般目標（G I O）

- 1) 救急医療、一般医療に必要な基本的手技を身につける。
- 2) 麻酔一般について理解し、全身状態や病態、合併症を把握し適切な対処ができる。
- 3) 軽度～中等度の合併症のある中侵襲の手術患者の一般的な麻酔について理解し、指導医の指導のもとに行うことができる。

2. 行動目標（S B O）（経験目標）

- 1) 基本的手技（気管内挿管、末梢静脈路の確保、中心静脈カテーテル挿入、観血的動脈血圧測定など）を習得する。
- 2) 正しい術前回診、術後回診、麻酔記録の記載法を習得する。
- 3) 吸入麻酔、静脈麻酔、脊椎麻酔、硬膜外麻酔、各種ブロックなどを経験し、基本的な麻酔管理ができる。
- 4) 術中循環動態、呼吸状態の変化の理解と対処法を習得する。

3. プログラム

1) 第1～2週

- (1) 指導医の指導のもとに基本的手技（気管内挿管、末梢静脈路の確保など）を習得する。
- (2) 指導医の指導のもとに正しい術前回診、術後回診、麻酔記録の記載法を習得する。
- (3) 指導医の指導のもとに吸入麻酔、静脈麻酔、脊椎麻酔、硬膜外麻酔、各種ブロックなどを経験し、基本的な麻酔管理を身につける。
- (4) 指導医の指導のもとに代表的な術中循環動態、呼吸状態の変化の理解と対処法を習得する。

2) 第3～4週

- (1) 指導医の指導のもとに基本的手技（気管内挿管、末梢静脈路の確保など）を習得する。
- (2) 指導医の指導のもとに正しい術前回診、術後回診、麻酔記録の記載法を習得する。
- (3) 指導医の指導のもとに吸入麻酔、静脈麻酔、脊椎麻酔、硬膜外麻酔などを経験し、基本的な麻酔管理を身につける。
- (4) 指導医の指導のもとに代表的な術中循環動態、呼吸状態の変化の理解と対処法を習得する。

(5) 合併症のない低侵襲な手術の患者の一般的な麻酔について理解し指導医の指導のもとに行う。

3) 第5～8週

(1) 指導医の指導のもとに基本的手技（気管内挿管、末梢静脈路の確保、観血的動脈血圧測定、中心静脈カテーテル挿入など）を習得する。

(2) 指導医の指導のもとに正しい術前回診、術後回診、麻酔記録の記載法を習得する。

(3) 指導医の指導のもとに吸入麻酔、静脈麻酔、脊椎麻酔、硬膜外麻酔、各種ブロックなどを経験し、基本的な麻酔管理を身につける。

(4) 指導医の指導のもとに代表的な術中循環動態、呼吸状態の変化の理解と対処法を習得する。

(5) 軽度の合併症のある軽から中等度の侵襲の手術患者の一般的な麻酔について理解し指導医の指導のもとに行う。

Ⅲ. 麻酔科臨床研修到達目標（選択科として）

1. 一般目標（G I O）

1) 麻酔一般についてより深く理解し、特殊な麻酔について理解し、対応できる。

2) 高度の合併症のある大侵襲の手術患者の麻酔について理解し指導医の指導のもとにおこなうことができる。

3) ペインクリニックにおける一般的な診察法、診断法、治療法を理解する。

2. 行動目標（S B O）（経験目標）

1) 特殊な手技（観血的動脈血圧測定、Swan-Ganz catheter 挿入、硬膜外カテーテル挿入など）を習得する。

2) より詳細に術前回診を行い、麻酔計画を立てることができる。

3) 吸入麻酔、静脈麻酔、脊椎麻酔、硬膜外麻酔、各種ブロックなどを経験し、特殊な病態に応じた麻酔管理ができる。

4) 特殊な術中循環動態、呼吸状態の変化の理解と対処法を習得する。

5) ペインクリニックにおける一般的な診察法、診断法、治療法を理解する。

3. プログラム

1) 第1～4週

(1) 指導医の指導のもとに基本的手技（気管挿管、静脈路の確保、中心静脈カテーテル挿入など）を再履修する。

(2) 指導医の指導のもとに正しい術前回診、術後回診、麻酔記録の記載法を再履修する。

(3) 指導医の指導のもとに吸入麻酔、静脈麻酔、脊椎麻酔、硬膜外麻酔、各種ブロックなどを経験し、基本的な麻酔管理を再履修する。

(4) 指導医の指導のもとに代表的な術中循環動態、呼吸状態の変化の理解と対処法を再履修する。

(5) 中等度の合併症のある中侵襲の手術患者の一般的な麻酔について理解し指導医の指導のもとに再履修する。

2) 第5～8週

(1) 指導医の指導のもとに特殊な手技（観血的動脈血圧測定、Swan-Ganz catheter 挿入、硬膜外カテーテル挿入など）を習得する。

(2) 指導医の指導のもとにより詳細な術前回診を行い、麻酔計画を立てる。

(3) 指導医の指導のもとに吸入麻酔、静脈麻酔、脊椎麻酔、硬膜外麻酔、各種ブロックなどを経験し、特殊な病態に応じた麻酔管理を習得する。

(4) 指導医の指導のもとに特殊な術中循環動態、呼吸状態の変化の理解と対処法を習得する。

(5) 重度の合併症を持つ高侵襲な手術患者の一般的な麻酔について理解し、指導医の指導のもとにおこなう。